

令和 6 年度 事業報告書

1. 概況

2024 年度は、内外ともに不透明かつ混迷の度合いが深まった 1 年でした。世界ではロシアによるウクライナ侵略の長期化に加え、混沌とした中東情勢など、地政学リスクが続きました。また、経済面では、中国経済の停滞が懸念される一方で、昨年は主要国で選挙が相次ぎ、米国では 4 年ぶりにトランプ氏が大統領に就任し、保護主義や自国第一主義が台頭しました。堅調さを維持していた米国経済に懸念が高まっています。

国内に目を向けますと、痛ましい災害に見舞われた 1 年でありました。また、秋の衆院選では与党が 30 年ぶりに過半数を大きく下回り、少数与党へ転じるなど政治的変動が生じる一方で、経済では、コメ不足も加わり、依然として物価高が続いています。

新潟県においては、人口減少が加速しており、人手不足については深刻な状況にあり、従業員や後継者の確保が難しいことを背景とした倒産・廃業も増加しています。企業の経営活動においては、最低賃金引き上げや人手不足による人件費の高騰など、構造的な課題への対応も求められます。さらに、働き方改革の進展による時代の変化や資材・エネルギーコストの上昇に能動的に対応すべく生産性や収益力の向上のためにデジタル化や省力化・少人化への注力が必要です。

当財団は、このような状況下において、売上実績は 5,404 百万円（前年比 261 百万円増加）の実績となりました。また 40 周年の記念事業として、昨年の新潟県への 20 百万円、胎内市、柏崎市への各 10 百万円に続き、新潟大学と「ドナルド・マクドナルド・ハウス にいがた」に受診者からの募金と併せ、約 10 百万円を寄付しました。

2. 健康診断事業

2024 年度は【安心感を得られる健診環境の提供と接遇の強化】を大目標に取り組みました。接遇や技術の向上については社内教育や外部研修会への参加を積極的に行いました。医療接遇の基本である笑顔、挨拶が、マスク越しでも伝わるよう意識するなど、各々の意識・行動改革に取り組みました。その結果、受診者アンケートにおいて「満足度：良い」の高評価が増えています。

長岡健康管理センターでは 3 月に MRI 装置を新設し脳ドックの受診が出来るようになりました。不安なく受診していただけるよう丁寧な案内と検査説明を行っています。

同じく長岡健康管理センターでは空調・受変電設備の改修を実施し、老朽化による故障や効きが悪いといった問題を改善し受診環境の向上を図りました。